

上飯田団地地区

基本理念

支え合い、安心して暮らし続けることができる 上飯田暖地

目指すまちの姿

目標【人と人とのつながりを大切にし、温かい人の輪を広げていく】

○日頃から声をかけあい・支え合い・見守りあっていくまち

○気軽に活動の場に参加できるまち

○誰もが「あいさつ」を交わせるまち



第4期計画の取組と成果

【見守り活動】

- ・区内で一番高齢化率が高く、以前から住民同士の見守り活動に力をいれている。長年かけて地域の中で見守りの意識が高まり、特に独居世帯の方が地域で孤立しないように互いに配慮し、声をかけ合えるようになってきた。住民同士の挨拶も定着してきた。
- ・コロナ禍でも住民同士の交流が途絶えないよう、サロン活動はほぼ休止せず実施。
- ・見守り会議を実施し、情報共有を行いながら、地域全体で見守り活動を行っている。
- ・サロンや清掃活動、自治会費の集金等、様々な活動が日々の見守りにつながっている。
- ・上飯田団地L S A（横浜市高齢者用市営住宅等生活援助員派遣事業）、芽生え（生活支援センター）と日常的に連携しており、地域の見守りでは対応できない案件に関して柔軟に対応ができています。

【サロン・イベント等】

- ・住民同士で協力し、長年継続しているサロンが多い。
- ・「上飯田暖地コミュニティ・カフェ」を毎週実施し、地域の中で交流の場となっている。誰でも気軽に自由に参加できるようにしている。
- ・70歳以上を対象とした「上飯田団地高齢者食事会」は、コロナ禍で食事会からお弁当の受け渡しへ形を変えて継続し、毎回150人以上の利用あり。
- ・「社協暖地サロン」を立ち上げ、今までサロンに参加していなかった方にも働きかけることができた。情報交換、相談ができる憩いの場となっている。
- ・「さわやか脳トレーニング」では間違い探しや点つなぎなどを行いながら、参加者もスタッフも一緒に楽しみながら活動している。
- ・「陽だまりの会」では体操、フラワーアレンジメント等のプログラムを行うと共に、生活に必要な情報提供を行い、困りごとの解決につながっている。
- ・地域の方とのつながりができるように、また健康の維持・増進、楽しんで地域活動に参加してもらうために「ペタンク大会」や「ふれあい暖地マルシェ」等のイベントを実施。他にも自治会ごとに納涼祭、お花見などのイベントを工夫しながら実施している。
- ・クリスマス会等、子ども参加のイベントを実施し、多世代交流を行っている。

今後取り組む内容・課題

- ・地域の中で支援を必要とする人が適切な支援を受けられるよう、区役所・区社協・ケアプラザとの連携を強化しつつ、郵便局や学校、警察、近隣の事業所など上飯田団地に関係する様々な関係機関と共に見守り活動に取り組んでいきたい。
- ・地域全体で協力しながら、高齢者が進んで、楽しんで参加できるイベント（お祭りやペタンク大会等）を実施できるように力を入れて取り組む。また、これまで取り組んできたサロン活動等も地域の方の居場所となるように、今後も継続していく。
- ・見守りやサロン活動などを継続し、目標にもある「温かい人の輪を広げていく」ことで、積極的に地域活動に携わる「担い手」の確保にもつなげていきたい。
 - ・誰もが「あいさつ」を交わし合える地域づくりに取り組む。